

あいしん Letter



一般社団法人 愛知県鍼灸師会
Aichi Acupuncture & Moxibustion Association

〒451-0063 名古屋市西区押切 2-2-5
TEL.052-908-0123 FAX.052-908-0086
<http://aishinkai.harikyu.or.jp>
info@aishinkai.harikyu.or.jp

第15回 (公社)日本鍼灸師会 全国大会 in 静岡が浜松市で開催

■令和元年11月23日～24日の二日間にわたり第15回(公社)日本鍼灸師会全国大会が浜松城を望む会場(ホテルコンコルド浜松)にて開催されました。テーマは「鍼灸の可能性を探る 鍼灸の恩恵をすべての人に」。会場には鍼灸師、医療関係者、業界関係者や学生らが全国各地から大勢集いました。多彩なプログラムには、日鍼会役員と鍼灸学校関係者とのシンポジウム、講座では脳血管障害後遺症の治療、美容鍼、顔面神経麻痺の治療、痛みの最新情報、脈診実演、またパラリンピック代表選手の講演や学生らによる研究発表もあり、熱心に聴講する人々で盛り上がりました。また、一般観覧者へ向けた、医師による講座「終わっていく命とどう向き合うか」や落語なども開催。様々な話題を提供する大会となりました。今回は参加された先生方の感想をお伝えいたします。



- ☐ 全国大会 in 静岡 1・2 p
- ☐ 頭痛勉強会 3 p
- ☐ ボランティア活動 4・5・6 p

- アフリカ ケニア 医療支援
- 愛西市 あいさいさん祭り
- スペシャルオリンピックス日本 (SON)
愛知・夏季地区大会

- ☐ 三県合同研修会 6 p
- ☐ 女性部研修会 7 p
- ☐ 学術研修会 8・9 p
- ☐ 理事活動・ブロック会議 10 p
- ☐ 連絡事項・行事予定 16 p



・日本鍼灸師会役員と学校教員によるシンポジウム

～参加者感想コメント～

全国大会に参加しました

■新しい試みとして鍼灸学校の先生とのシンポジウムが行われ、少々、内容が不完全に終わった感がありました。また“**鍼灸は残っても鍼灸師は残れない**” 事がないよう “明日から使える実技を教えられる学会が良い学会だ”と聞き、もっと実技の講習を増やさないと思います。(H.T)

■シンポジウムでは、**学校卒後の研修の実情が大変難しいこと**がよくわかりました。具体的な提案があがるとよかったのですが、難しいことなのでしょう、良い案は又次にという感じでした。(J.T)

■「**終わっていく命とどう向き合うか**」を聴講して、死を迎えるに当たって「**不安**」と「**感謝**」という考え方の違いで、経過が大きく変わってくる事わかりました。日常の臨床でも同じ事が言える気がします。(E.H)

■鈴木聡先生の美容鍼の講座が興味深く勉強させていただきました。**皮膚、筋肉、骨への刺激と活性化**が大事だと学びました。(R.O)



・美容鍼講座の鈴木聡先生

■今回初めての全国大会への参加でした。今までどうも敷居が高い感じがして躊躇していました。でも、**学生が学べる講座**もあり誰でも気軽に参加出来ます。全国の先生方との交流ができて楽しめますよ！(M.I)

■聞きたい講演が重なっていたのは残念でしたが、少しづつ聞きました。懇親会では5月の白鳥で知り合った県外の先生方と再会し、色々なお話が聞けました。2次会も含め**沢山の先生と知り合えました**。(Y.H)

■浜松は久しぶりですが、**豊富な食材の土地**なだけに、関東風のウナギの味、また、もちもち感のある浜松餃子も堪能できました。静岡県しか味わえない、ハンバーグの店「さわやか」にも寄って満腹の幸せを味わえた全国大会でもありました。(J.T)



・長谷川会長の感想を(一社)愛知県鍼灸師会HPへ掲載しています→



・県民公開講座「終わっていく命とどう向き合うか」平方眞先生



・意見交換会

頭痛に対する鍼灸勉強会

第一回 病鍼連携を考える会

令和元年7月4日、一宮西病院にて「頭痛疾患に対する鍼灸勉強会」病鍼連携を考える会」が開催されました。今回の試みは一宮西病院副院長兼脳神経内科部長の山口啓二先生から『頭痛に対する鍼灸治療への期待と病院と鍼灸院の連携を深めたい』とご意向があり、セイリン（株）武田典嗣氏のご尽力により実現いたしました。病院からは山口先生をはじめ、脳神経内科医師、看護師、リハビリスタッフ、事務方が大勢参加され、当会から24名、愛知県鍼灸マッソーシ師会からも多数の参加者で会場が埋められ、今後の新たな展望と期待を感しました。

初めに山口先生による脳神経内科での頭痛の診断と治療についてレクチャーがあり、愛知県鍼灸マッソーシ師会から堀部高一先生、当会から長谷川栄一会长、児山俊浩副会長より鍼灸独自の頭痛治療について説明が行われました。その後、病院側スタッフへの鍼体験が実施され、初めて鍼施術を受け、その効果に対する驚きの声と反応が印象的でした。

今後一年間にわたり、5回ほどの勉強



・鍼の体験をする山口啓二先生

強会が開催された後、ある一定のレベルに達した鍼灸師と連携をしていく、との事です。結果が出せる、信頼される、鍼灸師が求められます。

※第二回の頭痛研修会は愛知県鍼灸マッソーシ師会の主催で令和元年8月31日 慶応義塾大学医学部漢方医学センターの島海春樹先生を講師に開催されました。

第三回 国際頭痛分類に基づく一次性頭痛の鍼灸治療

令和元年11月10日 名古屋平成医療看護専門学校8階ホール

講師・埼玉医科大学東洋医学科 菊地友和先生

今年7月に開催された一宮西病院の研修会から始まった頭痛に対する研修会。第三回は講師に埼玉医科大学東洋医学科に在籍する菊地友和先生をお招きして講義と実技の講演を行っていただきました。我々、鍼灸師にとって臨床に必要なポイントの一つは頭痛の見極めです。

一次性頭痛（筋緊張性頭痛、片頭痛、群発性頭痛うち三叉神経痛も含む）か二次性頭痛（他の疾患が原因の頭痛、脳血管障害など）か判断し、特に緊急度が高い二次性が疑われる場合や、一次性においても医師の診察が未受診であればケースに応じ医療機関へ送ることが大切です。それにより医師の診断がつくことで社会的孤立（痛みを他者に理解してもらえないなど）を防ぐことも可能とのこと。



鍼灸治療は頭痛診療ガイドラインにも掲載され、その効果が認められつつあり、今後は他のコメディカルも含めたチーム医療に含まれる可能性もあります。頭痛に対する治療の満足度を高める技術はもちろんのこと、緊急度が高い頭痛の状態をよく理解し、病院（医師）との連携を深め、患者はもとより医師からも信頼されるような意識を持つことが大切と感じました。

文責 佐合基樹

令和元年9月13～23日
@アフリカケニア

ケニアで 過ごした11日間を 振り返って

私は令和元年9月13～9月23日の11日間「アサンテナゴヤ」というアフリカで医療支援を実施しているNPOの活動に、鍼灸師として参加しました。

現地での感動や学びを多くの人に届けたいと思い、このたび会報に掲載させて頂くようになりました。



アサンテナゴヤとの出会いは、石川佳子先生（当団体理事）との出会いからでした。（一社）愛知県鍼灸師会の懇親会で、隣の席が偶然にも石川先生でした。頂いた名刺に「アフリカ支援アサンテナゴヤ」と記載があり、「これはどんな団体ですか？」と尋ねたことがきっかけでした。

もともとモクサアフリカの活動を学会などで拝見しており、アフリカでの活動に漠然とした興味がありました。「参加させてください！」と半ば強引なお願いを快諾していただき感謝しています。

我々の活動は、ケニア奥地の農村で無料医療キャンプを実施することが主な目的です。現地のNGOと協力して、HIV/AIDSの予防啓発、鍼灸治療などを提供しています。

現場は「焦り」と「緊張」の連続でした。問診や徒手検査など病態把握に努めましたが、続々と来る患者を捌くのが精一杯。（1日の受療者数は平均90人）

「本当にこんな治療でいいのか？」と不安が募りましたが、「Asante!」と声をかけて頂いたときは本当に嬉しく、鍼灸のやりがいを感じていました。



た瞬間でした。（Asante があります。の意味、アサンテナゴヤの由来です。）

鍼灸チームの坂光先生、中野先生、通訳のベロニカには大変お世話になりました、アサンテ！

私達は、HIV陽性の子どものための学校を訪問しました。HIVや障がいを持って生まれてしまった子供は、周囲の間違った偏見や差別により十分な教育を受けられない事実を知りました。しかし、教室内には子供たちのキラキラした笑顔と学びに対する喜びに満ち溢れていて、そこには辛い過去やハンデを背負ってしまった子供たちのネガティブな空気は僅かすらないように感じました。



私はケニアの文化や生活に触れ、初めて日本の豊かさを理解しました。教育や医療が平等に受けられる、クリーンな水が供給される、労働に見合う給与を得られることに、どれだけ価値があるか考えにも及ばなかったでしょう。



新しい価値観と出会い、変化した自分の世界観をもとに行動することを「変容学習」(Transformative Learning) と言っています。

まさにケニアで過ごした11日間は、これからの生き方、働き方を変容させる学びのきっかけになり、私の人生にとって大きな財産となりました。

私達の活動を支援していただいた皆様、ケニアで出会ったすべての方々、アサンテナゴヤの素晴らしい仲間们に深く感謝いたします。

文責 長岡哲輝

アフリカ支援 アサンテナゴヤのご紹介

NPO法人アフリカ支援 アサンテナゴヤ

理事長 石川佳子

(二社・愛知県鍼灸師会会員)

アサンテナゴヤはケニアの農村の支援を行っています。2000年からスラムでの医療活動に関わり、私も参加しました。その後農村での医療キャンプを開始。野原にテントを始めましたが、募金で建物建築、深井戸掘削。2016年には公的な医療施設となりました。HIV陽性率が最悪で、村人を啓発し、検査を受けてもらうことが目標でした。現在では殆どの人が検査を受けています。

鍼灸師会の先生方にもご参加頂き、鍼灸を提供して参りました。ご協力に感謝しております。



令和元年10月27日(日)

@愛西市役所周辺

あいさいさん祭り



10月27日(日)、愛西市で「あいさいさん祭り」が開催されその中の東洋医学コーナーにおいて、7名の先生方と共に鍼灸の体験ブースのお手伝いをいたしました。

お祭りは様々なイベントで盛り上がりつつあり、鍼灸のコーナーにも100名近い方が来訪され体験していただくことが出来ました。

鍼は今回は豪鍼は使用せず、接触鍼、小児鍼やローラー鍼といった刺激の弱い鍼を用いました。小さなお子さんも最初は少し怖がっていましたが、優しく丁寧にやっていると気持ちのいいものだとして理解し、喜んで受けていました。

お灸は、台座灸や電気温灸器などを用い、

ツボや冷えているところを中心に行いました。電気温灸器(セイリン製 セラミック電気温灸器)は備品で貸して頂いたのですが、普段私もあまり使うことがないので、被験者の方と一緒に感動しながらやっていました。体験に来られる方々の中には、真剣に身体の悩みを持つておられ、痛みや不安に苛まれる日々を過ごされる方もおり、どこで診てもらったらいいいのか、鍼灸は効果があるのか、などの相談を受けることもありました。そういった方には時間をかけ丁寧にお話を聞き、近くの鍼灸院を紹介したり、生活の中で出来ることをアドバイスさせていただきました。鍼灸はまだ世間の方々の認知度・受療率はとても低いです。このような場が増え、鍼灸がより多くの人のもっと身近な存在にあられたらと、そのために出来ることはないだろうかと、考えさせられました。また、鍼灸に限らず平日頃からボランティア意識を持つて、広い視野で様々な活動に参加していきたいと感じました。

文責 大蔵直幸



令和元年10月27日(日)
@トヨタスポーツセンター

スペシャル オリンピックス日本 (SON)・愛知・ 夏季地区大会

10月27日(日)、児山俊浩先生、牧正明先生及び坪内の3名で、豊田市にあるトヨタスポーツセンターへ、SON・愛知・夏季地区大会に救護ボランティアとして参加してきました。

当日は晴天にも恵まれ、愛知、岐阜、三重、静岡、長野、富山、福井の7県から311名のアスリートが10種目の競技に参加されました。救護所は会場受付のすぐ隣に設置され、医師1名と私達3名で担当しました。

延べ10名の方が救護所を訪れ、テーピング、アイシングなどを受けました



が、テーピングは主に牧先生が担当され、私はアイシングを担当しました。大会実行委員長も階段で足を滑らせ軽い捻挫をされたとのことで、アイシング及びテーピングを受けられました。また鍼治療を希望されたアスリートの家族の方に対しては、児山先生が対応され、鍼治療を受けられました。競技終了後も気分が悪くなったあるいは嘔吐したとアスリート2名が来所され、医師の指示で休まりましたが、フィジカルアセスメントは私達が担当しました。主催者側からは今回も非常に感謝され、「運営する側としてはとても安心できる」とのお言葉をいただき、私達としても今後も継続していく励みになりました。

今回の大会においても、私達以外にたくさんのボランティアが運営に協力されていて、こうしたイベントが善意のボランティア活動によって支えられていることを実感しました。

文責 坪内一正

令和元年10月27日(日)
@岐阜駅ハートフルスクエア G研修室50

第53回 三県(愛知・岐阜・三重)合同 鍼灸研修会 in 岐阜

今回は「お灸」をテーマに、国際的な活動、研究、実技という内容でした。

十万人が結核で死んでいるという話を聞き、驚きました。

第一部は、moxatica(モクサアフリカ) Japan 山川義人先生による講義。当団体は世界から結核をなくすことをミッションとし、日本式のお灸を結核投薬治療の補助や補完療法として利用する活動を続けています。世界では、年間百七

第二部は、明治国際医療大学鍼灸学部教授 和辻直先生による講義でした。最近、温度受容体が発見され、灸による刺激と受容体が注目されており、中国において「保険灸師」が誕生し、健康の維持、増進に貢献していることなどの内容でした。



第三部は、(一社)滋賀県鍼灸師会副会長 井出 健先生による「伝統灸実技 墨灸」でした。墨灸の原料は、黄柏、竜腦、麝香、樟腦、艾。これらを混ぜたものを、綿棒で塗布します。実際に、合谷に塗布してもらいましたが、ひんやりした感覚がありました。

文責 山田憲治

令和元年8月4日
@松浦経営会計センター

ゴールド鍼灸から みえる古典東洋医 学の実践

講師に一般社団法人滋林鍼灸研究所
会長の裴峻映（ハイ ジュンヨン）先生
をお招きして、講演と実技を披露して
いただきました。

裴先生は美容大国韓国美容鍼灸をは
じめ、滋林鍼灸治療院オリジナルの
ゴールド鍼による鍼灸治療を世界各国
に広める活動をされておられます。

韓国で鍼灸は「一鍼二灸三薬」と言
われるほど重んじられているそうです。



韓国に影響を与えた名医の話や韓国
の三大寺院の話など伝統東洋医学に関
わるお話をしていただきました。
実技では全身治療の流れと顔への鍼治
療をご披露され、ゴールド鍼はとても
柔らかく、患者の体がかたいと刺入す
るのも難しいそうです。ゴールド鍼で
の治療に至るまでに、まず全身治療を
行い、患者の体を柔らかくするそう
です。

ゴールド鍼は「補」。柔らかい鍼な
のに、鍼を抜く時はスツとは抜けず、
引っ張られる感じ。これは、人の体が
欲しがっている、良いものがわかると
いうことでした。人体の不思議を感
じ、大変興味が湧きました。

この日の施術ベッドには麻の布が敷
かれていました。ナチュラルな素材
で、綿、麻、シルクなどの素材が人の
体に合っていて施術に影響するのか試
しているところだそうです。施術に入
る前にはお灸をたいて、お部屋をお灸
の香りで癒しの空間作りもされている
とのことでした。

裴先生のゴールド鍼灸の講演及び実
技を拝聴して、その中で幾度も「患者
の気持ち、感情を大事にする」と言わ
れていました。ものすごく繊細に患者
に寄り添う治療をされているのを感じ
ました。

文責 谷崎 綾

災害時における鍼灸 師の役割とリスク

初の講師を終えて

当会女性部の石井美恵子先生から
「急遽決まった美容鍼の講義後、他
に何か講義アイデア無い？」

の一言で、7月21日に災害支援鍼灸
マッサージ師合同養成講座（DSAM）
を受講するから災害鍼灸の話な
らできるかもと引き受けたのです
が、こんなにも大変な事になると
は！？

DSAMの先生の御好意で資料使
用のOKを頂き、7月27・28日は愛
媛県西予市に西日本豪雨被災地ボラ
ンティアへ急遽参加、体験も踏まえ
て資料作成し翌週に発表・・・本当
にきつかったです

私にとつての災害支援について語
ろうと考え、2000年の東海豪雨
で実家が被災し、親戚友人の手が無
くては3ヶ月で復旧できなかったこ
と、東日本大震災時は幼息子を置い
てボランティアに行けなかったこ
と、西日本豪雨ボランティアに少し
だけお手伝いできたことを盛り込み
ました。

今回の講義内容は日鍼会の危機管
理部門の2名の先生方のご教示がな
ければ完成しませんでした。発表中
は緊張して、読み飛ばしも多くあつ
たと思います。

公益財団法人国際医療技術財団
（JIMTEF）やDSAMの講座
に出席し多くの県外の先生とSNS
を通じ交流できているのは私の財産
です。有事にしか使えない知識では
ありますが、役立つことがあるとい
う思いで発表いたしました。

文責 廣山洋子



※講義の内容は災害時に鍼灸師がど
のような活動ができるか、現地での
注意点や実際にボランティア活動を
行った経験についてでした。今回は
演者本人の感想として記事を書いて
いただきました。

令和元年7月28日
@名古屋国際センター4F
第三研修室

第61回

(二社)愛知県鍼灸師会研修会
研修会

「鍼灸師のための経営講座」

～節税の仕方・決算書の見方～

経営のポイントなど～



講師…松浦光夫先生

松浦会計事務所代表であり税理士の松浦光夫先生に「鍼灸師のための経営講座」として講義をしていただきました。現在の世界の経済動向と鍼灸業界動向から始まり、鍼灸院経営の基本（顧客との信頼関係、情報発信、施設管理、情報管理）や帳簿から損益計算書を作成し儲けの分析することまで、多岐にわたり興味深い内容を聞くことが出来ました。

一日の売り上げだけを見るのではなく、細かな経費がどれだけかかり純利益を上げるにはどのような対策を練るか、年間を通した考察も経営の安定化

には重要。また節税対策という魔法はなく、税法にのっとり税金を節約する方法を指導するのも会計事務所の役割とのこと。「儲けを生み出し、税金を納めるのは国への貢献であり、人や社会に貢献するという心構えが企業（鍼灸院）の発展につながる」とお話をされていました。

※松浦会計事務所様は当会の研修会会場として使用させていただいております。

この場を借りてお礼申しあげます。

「医療廃棄物取り扱いについてのオリエンテーション」



講師…青木幸三様

医療廃棄物処理業社である有限会社メンアットワーク青木代表取締役、青木幸三様に医療廃棄物の取り扱いについて講義をしていただきました。鍼灸院では鍼をはじめ、綿花、マスク、グローブ、その他プラごみ、紙ごみなど感染性および非感染性廃棄物として排出されます。専門業者と廃棄委託契約を結び処分することは鍼灸院（鍼灸師）と

して当然のこと。しかし、ときおり専門業者の立場からは考えられないような廃棄物に対する意識の低さを感じられることがあり、その意識改革のため啓蒙活動に勤しんでおられています。

医療廃棄物を適切な処理を行わず摘発された場合、法令違反として管理者（鍼灸師）の責任が問われます。自治体の不燃ごみとして処理、また鍼灸材料の購入時に販売業者が引き取り処分するというケースがみられるようですが、すべて違反対象となります。

多少に関わらず廃棄物処理専門業者に委託し、発行された廃棄物管理伝票を5年間保管することが義務付けられています。

「キネシオテーピング講習会」

講師…株式会社ニトムズ

塗木寛人様

昨年9月に開催されたキネシオテーピング講習会。好評だった為、前回に引き続き講師に株式会社ニトムズの塗木寛人先生をお招きして講義を行っていただきました。キネシオテープの歴史からテープの種類、テーピングの働き方や効果などのレクチャーの後、実技が行われました。



肩関節と足関節へのテーピングは臨床において多く見られる関節部疾患のため、復習を兼ね、お互いに貼り合うことで更に知識と経験を深めます。適切に対応出来るようになるには、数多くのテーピングを行うことと、筋肉、関節などの動きに対する想像力が大切。

正確かつ効果的なテーピングは患部の痛みと動きのコントロールが可能になり、パフォーマンスの向上にも繋がります。本年は東京オリンピックが開催され、スポーツ熱が高まり患者が増加すると予想されます。鍼灸のみならず、このような技術を磨くことも運動器疾患への治療の引き出しが増え、満足度評価が高まると思われれます。

令和元年11月17日@名古屋能楽堂 1F会議室
第62回 (一社)愛知県鍼灸師会研修会 研修会

「臨床に役立つ

知っておきたい不妊の話」



講師・明生鍼灸院副院長
木津正義先生

講師に明生鍼灸院副院長の木津正義先生をお招きして、鍼灸における不妊治療について講義をしていただきました。

先生曰く、「妊娠初期の流産は全体の15%程ありDNAの異常が多く鍼治療でも予防が難しい。鍼灸治療により流産が誘発され则认为る方もおられるが、それを否定する事実はいくつかある。医学的に実証されているので、十分に理解してもらう必要がある。母体を整える目的なら、10週目以降が望ましい。また、妊婦は常にリスクが

あるとして治療の刺激量に気を付け、わずかな変化にも意識しておくことが大事」ということでした。不妊治療は、「年齢とともに老化する卵子を若返らせることはできないが、血流を良くし、体内で育む環境を整えることができる。それには、自律神経を整えること」でした。

不妊の原因の4〜5割は男性側。不妊も生活習慣病ととらえ、木津先生ご自身が3年間で28kg減量されたご経験から、具体的な改善案もご紹介頂きました。

最後に、投薬などから医療不信に陥った患者に、医師の診察の必要性を説くことや「出産がゴールラインではなく、将来の体調や不安なことにも寄り添える治療家になれるといいね」という言葉も心に残りました。

文責 國光ゆりか

「臨床医が伝える妊産婦のイエローフラッグと女性の健康における統合医療のエビデンス」



講師・柴田綾子先生
淀川キリスト教病院
・産婦人科医師

淀川キリスト教病院、産婦人科医師の柴田綾子先生から妊産婦のイエローフラッグ&初期対応について学びさせて頂きました。

妊婦さんがマイナートラブルの解消のために鍼灸院に通われることはありますが、お腹の張りや出血、腹痛、手足の浮腫といった症状でも危険な状態と、そうでない状態との違いが分かって参考になりました。

【胎動減少、破水、子宮収縮、性器出血】を確認したら、その日のうちに産婦人科の受診をするよう促す必

要があるということです。合言葉は『たい(胎)は(破)シュ(収)シュツ(出)』だそうです。

最近では産婦人科のなかに鍼灸室が設けられている施設もあります。鍼灸治療はレッドフラッグを除外すれば、出産までの妊婦ライフを快適に安心して過ごせるようサポートできるので、もっと医療連携が進むことを望みます。

文責 細川佐知子



■第41回 定例理事会
2019年7月7日

【出席者】池田、石井、児山、高橋、長尾、長岡、長谷川、廣畑、村田、山田憲治 【オブザーバー】坪内
【委任出席】山田鑑照、牧、林、佐合

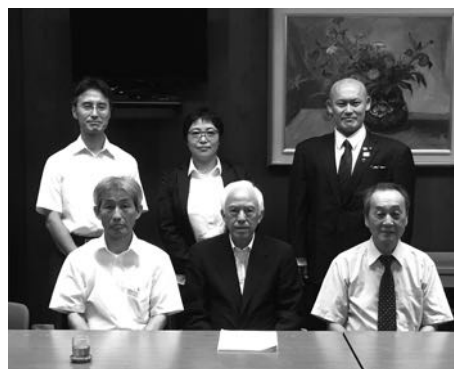
■第42回 定例理事会
2019年11月3日

【出席者】池田、石井、児山、佐合、高橋、長尾、長岡、長谷川、廣畑、牧、村田、山田憲治 【オブザーバー】坪内
【委任出席】山田鑑照、林

■愛知県保健医療局健康医務部医務課と災害支援鍼灸について会談
(児山俊浩)

2019年8月8日(木) 愛知県議会会議事堂にて、長谷川会長、廣山先生、児山の3名で、本会顧問で愛知県議会議員の塚本久先生にご同席いただき、愛知県保健医療局健康医務部医務課主幹(医療体制)三寄章司様、課長補佐(救急・周産期・災害医療グループ)丹羽雅裕様、課長補佐(医務グループ)米田真治様と災害支援鍼灸について会談をいたしました。

今後、地震、台風、豪雨など迫りくる災害に備え、本会として愛知県民のための協力ができればと思います。これからの体制づくりに向けて協議いたしました。



■一宮西病院副院長兼神経内科部長山口啓二先生と頭痛医療連携の経過について会談(児山俊浩)

2019年9月12日(木) 一宮西病院にて、長谷川会長と児山、(一社)愛知県鍼灸マッソーシ師会足立会長と堀部先生、セイリン株式会社武田様と西村様で一宮西病院副院長兼神経内科部長山口啓二先生と頭痛医療連携の経過について会談をいたしました。

7月4日(木)に一宮西病院(一社)愛知県鍼灸師会、(一社)愛知県鍼灸マッソーシ師会、セイリン主催で開催された「頭痛疾患に

対しての鍼灸勉強会」第一回病鍼連携を考える会」から、頭痛患者者についての一宮西病院との医療連携が始まりました。経過については、頭痛患者のおおよそが良好傾向でした。今後も、頭痛に関する研修会を開催し、医療連携のできる鍼灸師の質の向上が必要不可欠であると思われます。

■名古屋平成看護医療専門学校訪問
(児山俊浩)

2019年10月3日(木) 長谷川会長と児山で、名古屋平成看護医療専門学校を訪問し、はり・きゅう学科学科長有田浩史先生、教務主任近藤祐介先生へのご挨拶と今後の研修会について会談をいたしました。セイリン武田様に同席していただきました。

貴校は、今年度4月から新しく名



古屋に開校されました。研修会の会場として使用させていただくことになりました。これから、鍼灸師や鍼灸学生の学術研修の機会を増やしていくことができたいと思います。学校と業団との連携協力を行い、活躍できる鍼灸師が育つことを期待しております。

■公益社団法人 日本鍼灸師会
東海北陸ブロック会議

2019年10月19日・20日

【会場】三重県四日市市 プラトンホテル四日市 【出席者】長谷川栄一、高橋日出子、佐合基樹



※会議の詳細は
こちらのQRコード
からご確認ください



私たちの金メダルは、 あなたの元気です。

人に寄り添い、元気をサポートするのは、東洋医療の得意技。
スポーツの現場でも中和の卒業生が大勢活躍しています。



Chuwa Professional Training College of Medical Care

厚生労働大臣認定・愛知県知事認定・認定 学校法人 東洋学園



中和医療専門学校

Chuwa Professional Training College of Medical Care

(公社)東洋療法学校協会・(公社)全国看護医療専門学校協会加盟校

文部科学大臣認定 職業実践専門課程

入試要項はこちらをご覧ください。ぜひダウンロードください！

入試要項はこちら

入試要項はこちら

入試要項はこちら

入試要項はこちら

〒460-0215 愛知県稲沢市東山町1-1-1

TEL 0567-25-0226

FAX 0567-25-0207

www.chuwa.ac.jp

Webサイトはこちら





和紙 ディスポヘッドペーパー 1箱 500枚入 **¥4,000+税** サイズ: L500×W300

一人毎に取り替えるため、衛生的で患者さんにも好評です！！



医療用器具から医薬品までの総合商社

株式会社 三和商事薬品

小牧市中央4丁目92番地

TEL:0568-75-2467

FAX:0568-75-7432

E-mail:info@sanwa-yakuhin.com



デラックスフェイスペーパー 1箱 500枚入 **¥6,000+税** サイズ: L500×W300

水や油に強く、ソフトで厚みもあり、汗や化粧品や油の臭いを吸収します。

伊吹堂正本家元祖

亀屋のお灸

<http://www.ibukimoxa.jp>

亀屋佐京商店

〒521-0202

滋賀県米原市柏原

2229番地

tel. 0749-57-0022

fax. 0749-57-0505

よくきくもぐさ



あつさすくなく

持ちやすい、
つまり刺入しやすい



六角鍼管

鍼管で進化する。」

高度な施術を目指す鍼灸師の方へ

より技術の幅を広げていただくために、

ユニコからの新提案「六角鍼管」。

画で指先に握るため保持しやすく、

片手挿管もおこないやすい。

ユニコ
ディスポ鍼 Pro

筋肉の弛緩を
しっかりとらせる



ユニコ
ディスポ鍼 S

刺入抵抗が少ない、
なめらか刺入



日進医療器株式会社
鍼灸・柔整部

〒541-0045 大阪市中央区通修町1-4-2
TEL:06-6223-1781 FAX:06-6223-1567

ユニコネットホームページ
<http://www.unico-net.jp/>

0120-993-118
E-Mail: nissin01@clear.ocn.ne.jp

鍼・お灸・物療機器・その他材料
創業80年の実績
取扱いメーカー・商品多数
ご相談ください

訪問だから出来る3つの
モットーとは

顧客への信頼
送料の軽減
情報提供

ネット時代のこの時代、定期
訪問をすることでお客様に寄
り添う営業を目指します。
一度お電話、ご相談ください。

西尾衛生材料(株)

〒451-0074
愛知県名古屋市西区
万代町1-10
TEL: 052-522-5251
FAX: 052-524-3121



鍼灸用品ならメイプル名古屋

最安値

豊富な
品揃え

即日対応



QRコードから
トップページ
に飛べます。



鍼灸用品ならメイプル名古屋にお任せ！
FBやツイッターもやっているよ～
「治療院応援ブログ」も見てね！

鍼灸院医療用品の総合パートナー
株式会社メイプル名古屋

www.maple-nagoya.com

メイプル名古屋

TEL 0120-869-758

FAX 0120-098-758



イメージキャラクター
はり灸さん


鍼・灸・テープ・ベッド・医療機器など、院内用品・医療用品のことは
ミルキーウェイ「鍼本舗」におまかせください！

私達はお客様に喜んでいただけるよう、「笑顔」と「安心」をお届けします！

私達は商品をお届けするだけではなく、他業界で25年間培った経験をもとに、
弊社が提携している、物販アドバイザー・補助金コンサルタント・税理士・
弁護士・司法書士・ファイナンシャルプランナーなどグループ全体で、治療院様を
全力でサポートします。なんでもお気軽にご相談ください。

★お問い合わせ・ご相談はお気軽にどうぞ！★

愛知県鍼灸師会会員様限定
特別価格商品あります！

パソコンでの検索は
『鍼本舗』  検索

スマホなら簡単アクセス



TEL 0120-236-889

FAX 052-715-7703

にさんがろく はやく

・平日9:00～18:00/ 土曜日10:00～13:00
(奇数土曜、日祝はお休みをいただいています)

・FAX24時間受付(営業時間での対応となります)



株式会社ミルキーウェイ

〒465-0025 名古屋市名東区上社3-102



インスタ始めました！
お得な情報満載！
@milkyway_hari



経絡道プロジェクト会員企業

連絡事項・行事予定

令和2年2月23日(日) 第63回 愛知県鍼灸研修会

会場：松浦会計センター2階
名古屋市中区新栄3丁目6
(千種ラウンドワン西向い)

時間：9:30～12:40

第1講：「災害医療概論」
(9:30～11:00)

講師：清水洋二先生
中和医療専門学校あはき関係
学科校務主任
(公社)全日本鍼灸学会広報
部長・中部支部長

第2講：「難経」を応用した経絡治療
の実際(実技供覧)
(11:10～12:40)

講師：菊池達也先生
経絡治療学会講師

令和2年5月10日(日) 通常総会／頭痛研修会

会場：名古屋平成看護医療専門学校
8階ホール

午前：「通常総会」
(11:00～12:00)

午後：「第4回 頭痛研修会」
(13:00～16:00)

講師：山口智先生
埼玉医科大学医学部講師
現代医療鍼灸臨床研究会
副会長
全日本鍼灸学会 学術局長
全日本鍼灸学会 埼玉地方会
会長

令和2年5月29日(金) ～31日(日)

第69回 公益社団法人 全日本鍼灸学会学術大会 京都大会

会場：国立京都国際会館
〒606-0001
京都市左京区宝ヶ池

テーマ：「未来の鍼灸を想像する」
～鍼灸×(医療・健康)の
その先?～

事務局：〒629-0392
京都府南丹市日吉町
明治国際医療大学内

WEB：http://taikai.jsam.jp

鍼灸院臨床研修制度を 活用しましょう

鍼灸専門の治療院を見学し、深く学べるチャンスとして臨床研修制度があります。学生のうちや卒後に様々な臨床現場を見ることは非常に勉強になり、その後の仕事の糧となることは間違いありません。研修の対象者が決まっていますので、当てはまる方はこの機会にどうぞ!

※対象になるのは・・・

1. 鍼灸専門学校・大学在学中
2年生以上の学生
2. 免許取得後5年以内の当会会員

※受け入れ鍼灸院や申込み
についての詳細はこちらの
QRコードからどうぞ



学術研修会習得ポイント 制度について

何年も前から、医師や患者さんからの要望として「信頼の出来る鍼灸師さんを紹介して欲しい。」とか「信頼の出来る鍼灸師さんが分かるようにして欲しい。」というものがありました。

それらの要望に応える形で、今年度より当会では本会独自の学術研修ポイント制を実施することにしました。

学術研修会に積極的に参加して勉強されている先生ならば、会としても自信をもって紹介できますし、一生懸命勉強をしている先生方を患者さんや医師に知っていただきたいという思いで、ポイント順に一覧表にしてホームページで公開しています。

研修会によりポイント点数を設定しており、特に当会開催の研修会の出席はポイント数が高くなります。他の研修会に参加した場合にもポイントは加算されますので、出席された研修会内容をお伝えの上、事務局までご連絡ください。

※日本鍼灸師会のメルマガも研修会、その他の情報が紹介されています。



メルマガ登録用QRコード

※研修会は(一社)三重県鍼灸師会や(一社)岐阜県鍼灸師会のホームページにも随時掲載されております。各鍼灸師会の主催した研修会であれば、当会会員でも会員価格で受講できます。興味のある方は各師会へお問い合わせください。



(一社)三重県鍼灸師会



(一社)岐阜県鍼灸師会

★編集後記★

新年あけましておめでとうございます。本年もよろしくお願ひいたします。会報誌が1月の中に無事発行できるかと12月はバタバタしました。報告書的なものになってしまわないようにと気を付けつつも、あれ?・・・

次号からは当会ホームページとの連携を深くし、違った趣で発行したいと考えております。記事や企画などで、ご意見などございましたら、事務局までFAX、メール、お電話でご連絡ください。最後になりましたが、記事にご協力いただいた先生方ありがとうございました。ございました。

広報委員
編集部

